

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1097】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 公民館講座開設事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	02	公民館費	連絡先	0594-23-4103
	細目	001	ブランド推進事業費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市民	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
生涯にわたる学習を支援するために中央公民館、独立館、併設館、多度公民館、長島地区公民館がそれぞれ自主事業として開設する講座、学級を魅力ある講座内容にするための企画運営を行う。	より特色ある魅力的講座開設の可能性が拡がる。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
誰にも学びやすい入門的な講座を運営することで受講者の教養向上、健康増進を図る。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	市民数	人	142,510	142,665	142,730	142,144
	公民館講座数 (城東を除く)	講座数	119	118	108	101
活動指標	くわな市民大学講座数	講座数	12	15	12	9
	公民館講座受講者数 (城東を除く)	人	目標値 30,000 実績値 27,904	28,000 26,582	28,000 20,766	28,000
成果指標	くわな市民大学受講者数	人	目標値 3,000 実績値 3,557	3,000 3,424	3,000 2,951	3,000
	事業費計		15,238	14,248	11,023	10,777
投入コスト	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他	3,005	2,536	5,312	4,229
		一般財源	12,233	11,712	5,711	6,548
	所要人員 (正職員)	人工	1 18	1.24	1.34	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	5 99	6.81	6.67	
人件費合計	千円	28,522	32,654	31,833		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

公民館講座は基礎的な内容で広く市民の方に受講していただけるよう努めているが、公民館ならではの特色のある講座の企画を検討し受講者の増加に努める必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1091】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 公民館社会教育指導員活動事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	02	公民館費	連絡先	0594-23-4103
	細目	003	社会教育指導員等活動費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	市民	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	公民館の主催する講座・学級等の企画運営を行い参加者に適切で専門的な指導、助言をするための社会教育指導員を配置する。	理由	社会教育指導員は教育一般に関する見識と豊富な経験を持つ者の中から、教育委員会が任命するため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	地域住民のために教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、住民の教養の向上、健康増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図る。		

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人	142,510	142,665	142,730	142,144	
活動指標	非常勤嘱託の社会教育指導員配置数	人	3	2	2	2	
	公民館講座数 (くわな市民大学を含む) (城東を除く)	件	131	133	120	110	
成果指標	公民館講座受講者数 (くわな市民大学を含む) (城東を除く)	人	目標値 33,000 実績値 31,461	31,000 30,006	31,000 23,717	31,000	
			目標値 実績値				
投入コスト	事業費計		3,187	2,476	2,533	2,908	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他	9	17	11	12	
		一般財源	3,178	2,459	2,522	2,896	
	所要人員 (正職員)	人工	0.11	0.11	0.11		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	1.88	2.15	2.10			
人件費合計	千円	7,136	8,317	7,890			

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>○ あがっている ● 横ばい ○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>○ 拡充      ○ 休止廃止 ● 現状維持   ○ 見直し ○ 縮小</p>	<p>充実した講座内容、受講者拡大をいかに進めるか。</p>		

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1468】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 図書館一般管理運営事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	03	図書館費	連絡先	0594-22-0562
	細目	002	施設管理運営費		

## 事業の概要 (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市民	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館資料の貸出・保存業務などの運営管理</li> <li>○学校教育支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館見学や職場体験の受入、団体貸出セットの活用</li> </ul> </li> <li>○子ども、子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会、調べる学習のサポート、ゆめはま文庫貸出、映画会等</li> </ul> </li> <li>○高齢者、障害者支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面朗読サービス</li> </ul> </li> <li>○その他 (キャリアアップ・情報提供) <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展示等の開催</li> <li>・サテライトカレッジの開催</li> </ul> </li> </ul>	中央図書館はPFI方式で実施済。他の2館については現状どおりとするため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市立図書館が円滑に運営され、多くの市民に利用してもらう。	

## 事業活動と成果 (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人	142,347	142,544	143,088	143,088	
	対象施設数	施設	3	3	3	3	
活動指標	自主企画事業実施数	事業	10	10	10	10	
	図書館ホームページ所蔵資料検索アクセス件数	件	100,000	100,000	100,000	100,000	
成果指標	年間延べ貸出冊数	冊	目標値 1,300,000 実績値 1,214,244	1,300,000 1,286,817	1,300,000 1,305,627	1,300,000	
	年間延べ来館者数	人	目標値 1,050,000 実績値 890,128	1,050,000 850,669	1,050,000 840,751	1,050,000	
投入コスト	事業費計			44,913	40,916	43,565	42,072
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他		532	685	8,906	4,023
	一般財源	44,381	40,231	34,659	38,049		
	所要人員 (正職員)	人工	3.12	3.22	4.80		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	5.43	5.00	5.50			
人件費合計	千円	40,153	40,324	51,513			

## 進捗評価 (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

自主財源の確保に努めるとともに、3館が連携して創意工夫し、来館者及び貸出冊数の増加につなげていく。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1082】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 社会教育委員会運営事務				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	01	社会教育総務費	連絡先	0594-24-1244
	細目	002	社会教育委員会運営費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	社会教育委員の会議	<p>公民連携の前進</p> <p>公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。</p> <p><input type="radio"/> ある</p> <p><input checked="" type="radio"/> ない</p> <p>理由</p> <p>社会教育委員の会議は市の附属機関であるため、市が実施主体となるのがふさわしい。</p>
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○社会教育法、桑名市社会教育委員設置に関する条例により設置された委員会の運営事務を行う。</p> <p>・委員会の構成：12名 (H26.12.6委嘱)</p> <p>(学識経験者、桑名市立小中学校長会、公募委員等)</p> <p>○委員会で26年度事業進捗報告(成人式、青少年健全育成・補導業務、図書館事業、スポーツ大会、公民館市民大学、講座、文化財保護事業等)、生涯学習推進計画の評価及び27年度事業計画説明を行い、委員から意見や助言を受けている。</p>	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	市の社会教育関係機関に対し、意見が提言されることで、市の社会教育の発展・向上につなげる。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	委員会数	件	1	1	1	1	
	活動指標	委員会開催回数	回	2	2	2	2
成果指標	委員会で意見があった案件率	%	目標値 100.0 実績値 100.0	100.0 100.0	100.0 83.3	100.0	
		目標値 実績値					
投入コスト	事業費計			572	304	273	502
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		572	304	273	502
		所要人員 (正職員)	人工	0.45	0.45	0.45	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	3,138	3,186	3,077		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

社会教育委員は、学校、社会教育関係、スポーツ関係などの団体代表から選出されているため、多様な協働の関係でのコーディネーター的役割、学習課題の発見、それぞれの立場からの意見具申等を行うことが可能である。三重県教育委員会が作成している「社会教育委員のしおり」で委員の役割について理解を深めていただくとともに、会議を通じ、委員からの提言を受けて社会教育行政に反映させていく。

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1083】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 成人式行事開催事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	01	社会教育総務費	連絡先	0594-24-1244
	細目	003	成人式行事開催経費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
市内に住民登録がある新成人、及び市外居住者で式典参加を希望する新成人	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○「成人の日」の趣旨に則し、新成人を対象とした記念式典を開催する ・公募による新成人スタッフとともに会議を行い、式典の運営やアトラクションの内容について企画を行う ・式典に関する広報及び問い合わせ対応、新成人該当者への案内状の送付 ・その他、式典開催に係る事務業務等	低コストでの式典実施や新成人の主体性を尊重した式典にするためには、市職員と新成人スタッフによる式典の企画・運営が望ましい。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
当市の将来を担う新成人を市全体で祝福する。また、安全に、楽しく有意義で思い出に残るよう式典を運営し、出席者に満足していただく。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	新成人該当者数	人	1,478	1,520	1,536	1,473	
活動指標	案内状発送数	枚	1,478	1,520	1,536	1,473	
	新成人スタッフ会議回数	回	9	9	9	9	
成果指標	出席者数	人	目標値 1,182 実績値 1,173	1,216 1,210	1,200 1,270	1,178	
	出席率	%	目標値 80.0 実績値 80.0	80.0 79.6	80.0 82.7	80.0	
投入コスト	事業費計			1,803	1,699	854	1,657
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		1,803	1,699	854	1,657
		所要人員 (正職員)	人工	0.49	0.55	0.52	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.10	0.10		
	人件費合計	千円	3,417	4,245	3,895		

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

H27年度に抽選会等のアトラクションを企画し、参加者に大変好評であったため、新成人が楽しむことができ、思い出に残るアトラクションの継続を図る。また、効率的な式典運営に努めながら、サービスの向上を目指す。

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1103】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 図書館協議会運営事務				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	03	図書館費	連絡先	0594-22-0562
	細目	001	図書館協議会経費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
図書館協議会 子ども読書活動推進協議会 図書等選定審査委員会	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
○図書館協議会：市立図書館の円滑な運営を図るため運営に関し協議会が意見を具申する。 ○子ども読書活動推進協議会：子ども読書活動推進計画の適切な推進を図る。 ○図書等選定審査委員会：高額な図書購入予定がある場合、図書等選定審査委員会において、事前に審査・選定し、購入の可否を判断する。	条例等で定められた委員構成の協議会運営であるため。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
市の生涯学習関係機関に対し、意見が提言されることで、市の生涯学習の発展・向上につなげる。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	図書館協議会及び子ども読書活動推進協議会数	会	2	2	2	2	
	図書等選定審査委員会数	会	1	1	1	1	
活動指標	図書館協議会ならびに子ども読書活動推進協議会開催回数	回	4	4	4	6	
	図書等選定審査委員会開催回数	回	11	11	9	9	
成果指標	意見の提言数	件	目標値 30 実績値 35	35 32	35 32	35	
	審査対象の図書冊数	冊	目標値 500 実績値 419	500 392	500 349	500	
投入コスト	事業費計		451	496	434	527	
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		451	496	434	527
	所要人員 (正職員)	人工	0.43	0.43	0.24		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.20	0.20	0.20			
人件費合計	千円	3,676	3,745	2,321			

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

第3次子ども読書活動推進計画策定のため、子ども読書活動推進協議会の会議回数を増加する。

# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1092】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 公民館一般管理運営事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	02	公民館費	連絡先	0594-23-4103
	細目	004	施設管理運営費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
中央公民館、独立館、併設館、多度公民館、長島地区公民館	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 ● ある ○ ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
公民館利用者が快適に安心して中央公民館、独立館、併設館、多度公民館、長島地区公民館を利用し学習できるよう公民館の一般管理運営を行う。	民間関与による経費削減の可能性はある。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
適切な管理により施設の利用促進を図る。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	施設数 (城東を除く)	施設	19	19	19	19
	開館日数	日	342	342	342	344
成果指標	施設利用者数 (城東を除く)	人	目標値 262,000 実績値 242,894	260,000 235,238	260,000 230,179	260,000
		千円	36,332	34,210	35,520	39,570
投入コスト	事業費計					
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他	1,344	1,337	1,296	1,106
	一般財源	34,988	32,873	34,224	38,464	
	所要人員 (正職員)	人工	1.36	1.36	1.56	
所要人員 (嘱託再任用)	人工	1.43	1.04	1.48		
人件費合計	千円	14,328	13,273	15,697		

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

公民館業務の管理運営については正規職員、嘱託職員、臨時的任用職員やシルバー人材センターのスタッフで行われていることから、人員の配置や事務引継ぎについて十分に考慮し市民サービスの向上に努める。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1090】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01 公民館運営審議会運営事務				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	02	公民館費	連絡先	0594-23-4103
	細目	002	公民館運営審議会経費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民館運営審議会	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	館長の諮問に応じて、公民館における各種の事案の企画実施について調整審議を行うための公民館運営審議会を開催する。	理由	市の付属機関であるため、市で運営するのがふさわしい。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	学識経験者及び市民の代表者の提言、意見を公民館運営に反映させることにより事業の活性化を図る。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	審議会数	件	1	1	1	1	
活動指標	審議会開催回数	回	2	2	2	2	
成果指標	運営審議会意見があった案件数	件	目標値 10 実績値 7	10 7	10 8	10	
投入コスト	事業費計			138	147	141	180
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源		138	147	141	180
		所要人員 (正職員)	人工	0.20	0.18	0.18	
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
	人件費合計	千円	1,395	1,274	1,231		

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充      ○ 休止廃止
- 現状維持   ○ 見直し
- 縮小

厳しい財政状況の中で講座等の公民館主催事業とサークル等の自主活動グループへの支援のあり方などについて公民館運営審議会委員の意見を頂戴し、事業に反映していく必要がある。



# 事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1110】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01	青少年国際交流事業			
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	05	青少年育成費	連絡先	0594-24-1247
	細目	003	青少年国際交流事業費		

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
桑名市内に住所を有し、助成金交付年度の4月1日現在において中学生から25歳までの者	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	理由
海外留学によって出入国の日を含み、30日以上海外において国際交流を行った者に対して、その渡航及び滞在に係る経費の一部を助成する。  ・助成申請期間は、7月～9月で、広報、ホームページで周知を行う。 ・前年度の1月1日から助成金交付年度の12月31日までに国際交流を完了する者 ・年間5人までとし、各20万円の助成。(※自己負担額が40万円以上であること) ・助成決定にあたっては、教育委員会内に設置する選考委員会にて書類審査及び面接の上、	理解ある企業等の関与により可能性は広がると思われる。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
桑名市の将来を担う青少年が、海外留学によって世界的な視野に立ち、ボランティア精神に富んだ、国際感覚豊かな成長を遂げ、それぞれの地域における中核的な存在として、桑名市のまちづくりに寄与することを期待するものである。	

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	在住青少年数	人	19,089	19,089	19,087	19,131
活動指標	助成申請者数	人	7	6	6	5
成果指標	助成件数	件	5	5	5	5
		目標値	5	5	5	5
		実績値	5	5	5	5
投入コスト	事業費計		1,000	1,000	1,000	1,000
	財源内訳	国支出金				0
		県支出金				0
		地方債				0
		その他	1,000	1,000	1,000	1,000
		一般財源				0
	所要人員 (正職員)	人工	0.10	0.10	0.10	
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.10		
人件費合計	千円	697	708	1,024		

## 進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

事業周知の方法

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1135】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目03	コミュニティプラザ施設設備充実事業			
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	08	社会教育施設費	連絡先	0594-24-1244
	細目	004	設備充実費		

<b>事業の概要</b> (事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	公民連携の前進
大山田コミュニティプラザ	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	○ ある ● ない
○大山田コミュニティプラザの設備・備品類の充実を行う。 ・平成27年度実施内容：備品購入（展示パネル10台）	理由
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	
施設の設備・備品類の充実により、施設の利便性が高まる。	

<b>事業活動と成果</b> (上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)						
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初
対象指標	施設数	施設	1	1	1	1
	購入設備・備品数	件	22	22	10	-
成果指標	施設利用件数	件	目標値 4,000 実績値 4,830	4,000 4,986	4,000 4,832	-
	事業費計		207	816	524	0
投入コスト	財源内訳	国支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源	207	816	524	0
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.00	
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00		
人件費合計	千円		0			

<b>進捗評価</b> (事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <p>○ あがっている</p> <p>● 横ばい</p> <p>○ あがっていない</p> <p>H28年度の方向性</p> <p>○ 拡充      ○ 休止廃止</p> <p>○ 現状維持   ○ 見直し</p> <p>● 縮小</p>

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1914】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目04 スター21設備充実事業				
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	08	社会教育施設費	連絡先	0594-24-1244
	細目	004	設備充実費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	スター21	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	○スター21の設備・備品類の充実を行う。 ・平成27年度実施内容：備品購入（木製ラック1台、プロジェクトター台1台、スチール製案内板3台）	理由	備品は市が調達し指定管理者に貸与することが基本協定書で定められている。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	施設の設備・備品類の充実により、施設の利便性が高まる。		

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	施設数	施設	1	1	1	1	
	購入設備・備品数	件	13	2	5	8	
成果指標	施設利用件数	件	目標値	5,800	5,800	5,800	5,800
		実績値	5,439	5,485	5,573		
		目標値					
投入コスト	事業費計		208	76	158	230	
	財源内訳	国支出金				0	
		県支出金				0	
		地方債				0	
		その他				0	
	一般財源	208	76	158	230		
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.00		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円		0				

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
<p>成果は計画どおりにあがっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● あがっている</li> <li>○ 横ばい</li> <li>○ あがっていない</li> </ul> <p>H28年度の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拡充      ○ 休止廃止</li> <li>● 現状維持   ○ 見直し</li> <li>○ 縮小</li> </ul>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                 施設設備・備品について、指定管理者と連携し不備等の点検・確認作業を定期的に行い、適切な対処を行う。             </div>		

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【1136】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目01	長島ふれあい学習館教室開設事業			
予算区分	款	10	教育費	所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費		
	目	08	社会教育施設費	連絡先	0594-41-1041
	細目	005	生涯学習振興事業費		

事業の概要		(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)	
対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	桑名市民	公民連携の前進	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。  ○ ある ● ない
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	○施設設備を活用した生涯学習事業等を実施する。 ・教室事業 陶芸教室、星空教室、ロボット工作教室、ベビーヨガ教室、ベビーコミュニケーション教室、親子リトミック教室 ・プラネタリウム観覧 (毎日上映) ・施設及び事業のPR：広報、新聞、ケーブルテレビ等で紹介、ポスター、チラシ等を作成・掲示・配布	理由	各種の教室については、長期間参加するものではなく、参加対象が固定しているため、参加者は毎年新しい人で構成されることから民間関与の幅を広げることは難しい。
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	市民が生涯学習講座をとおして、受講者間の交流を深めつつ、自らが必要とする知識、技能を身に付ける。		

事業活動と成果		(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)					
区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	市民数	人	142,510	142,510	142,379	142,144	
活動指標	教室開講コース数	コース	30	32	32	32	
	プラネタリウム上映日数	日	306	307	309	307	
成果指標	教室申込者数	人	目標値 800 実績値 699	820 901	820 880	840	
		人	目標値 3,900 実績値 2,571	3,000 2,837	3,000 2,649	3,000	
	投入コスト	事業費計		4,163	3,924	3,957	3,693
		財源内訳	国支出金				0
県支出金						0	
地方債						0	
その他	1,701		1,879	1,981	1,591		
	一般財源	2,462	2,045	1,976	2,102		
	所要人員 (正職員)	人工	0.60	0.60	0.10		
	所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.25	0.25	0.70		
	人件費合計	千円	5,031	5,124	3,063		

進捗評価		(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)	
成果は計画どおりにあがっているか。	<input type="radio"/> あがっている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> あがっていない	H27年度の成果指標の実績が減少した。H28年度は昨年を見直し内容に基づいて、各種の広報媒体を利用して一層のPRを行い、増加を図っていく。	
H28年度の方向性	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 休止廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小		